

2019年12月31日（火）【外為Lab】松田哲

タイトル：【今日は大晦日（12月31日）です】

今日は大晦日（12月31日）です。

振り返ると、今年（2019年）のドル／円相場は、歴史的に変動幅が小さい一年間でした。

まだ、本日（12月31日）の一日が残っているので、確定ではないのですが、今のところ、今年（2019年）の高値は112円台、安値は104円台であり、今日の一日で、高値・安値を更新することは難しい、と考えます。

つまり、ドル／円の今年（2019年）の変動幅は、約8円程度で、非常に、動きの少ない一年間だった、と言えるのでしょうか。

変動幅が少ないと、当然のことながら、収益チャンスも少ない訳で、今年は、利益を上げるのが難しい一年間だった、と考えます。

来年（2020年）は、もう少しでも、利益を出しやすい相場になれば良い、と期待しています。

しかしながら、来年（2020年）は、東京オリンピックの年でもあり、期待が高まるのですが、米中の貿易摩擦問題が継続しており、また、英国のEU離脱（ブレグジット）が確実視される、そして、北朝鮮問題も不透明感を増している、など、外国為替相場を動かすであろう要因も、現時点で、山積みの状況です。

+++++

今年（2019年）は、年間の変動幅が10円に満たない程、歴史的に見ても、非常に値動きの狭い一年間でした。

動かない相場は、面白くもないし、利益も上げ難い。

乱高下すればいいというわけではないのですが、相応の動きをしてくれないと、取引しようがないというのが本音です。

年が明ければ、気分を一新して、フレッシュな気持ちで、相場に臨みたい、と、来年（2020年）の相場に期待しています。

+++++

（2019年12月31日東京時間12：45記述）